

裸麦が創る食と農の未来フォーラム

コラボ開催！

第3回オオムギ資源開発研究セミナー

愛媛大学大学院農学研究科附属ハダカムギ開発研究センター設立シンポジウム

共催：愛媛大学大学院農学研究科、岡山大学資源植物科学研究所、農林水産省中国四国農政局

開会挨拶

山内 聡（愛媛大学大学院農学研究科長）

講演

座長：松井 菜奈（愛媛大学農学部4年）

1. 裸麦を活用した健康社会を目指して
（荒木 卓哉氏：愛媛大学大学院農学研究科附属ハダカムギ開発研究センター長）
2. 大麦のある生活～時代が求める大麦～
（浦松 亮輔氏：農研機構事業開発部ビジネスコーディネーター）
3. バイオテクノロジー研究が切り拓くオオムギの未来
（久野 裕氏：岡山大学資源植物科学研究所准教授）
4. 精麦業者から見た裸麦とは
（高畑 光宏 氏：株式会社高畑精麦代表取締役社長）
5. 裸麦が食卓に届くまで
（大森 陽平氏：有限会社ジェイ・ウィングファーム取締役）

クロストーク

パネラー

荒木氏、浦松氏、久野氏、高畑氏、大森氏、松岡 謙二氏（農林水産省中国四国農政局次長）

日時等

12月12日（日）13:00～15:40

オンライン開催

（zoom, 定員300名, 事前登録制）

参加費：無料

概要

裸麦は四国、中国、九州地方で広く生産されており、麦味噌は裸麦を原材料として瀬戸内地域の独特の食文化を育んできました。この度、愛媛大学に設置したハダカムギ開発研究センターでは、今後、科学的知見に基づいた裸麦の育成、健康機能性の探索や商品開発を通して情報を発信します。これらの活動を通して、消費者や地域の方々に裸麦についてもっと知っていただき、地域食文化としての継承と発展に繋がりたいと考えています。

そのためには、消費者とのつながりを深めるとともに、研究機関や行政との連携が必要です。これまで岡山大学と協力して開催してきた「オオムギ資源開発研究セミナー」と「ハダカムギ開発研究センター設立シンポジウム」をコラボ開催することにより、植物資源や商品価値など裸麦を多面的に捉えて、地域食文化を育んできた裸麦の未来について考える機会とすべく、本フォーラムを開催します。

本フォーラムでは、地域のキーパーソンに生産から精麦、加工、流通、販売までの各工程におけるそれぞれの取組について講演いただき、その後のクロストークにより今後の裸麦の生産振興と需要拡大に向けての方向性を探ります。

参加お申込方法

事前登録制としています。参加を希望する方は、右記QRコードからお申込みください。

または、申込フォーム <https://forms.office.com/r/YFfGd0RFvE>

ハダカムギ開発研究センター <https://www.agr.ehime-u.ac.jp/cdhub/>

からもお申し込み可能です。

（登録締切：2021年12月7日（火）12:00，定員先着300名）

